

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第96号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

創意工夫で不況を乗り切る横浜・川崎の小規模企業

芝 忠

先般、神奈川県商工団体連合会(民商)の紹介で、横浜・川崎北部の小企業6社を訪問しました。関東学院大学経済学研究院からの調査委託事業で、本年が5年の最終年度ですので、従来の中堅企業ではない小規模企業を調査しようとなったものです。

従業員規模では、一人親方から16名までで、概念的にはいずれも20名未満の「**小規模企業**」に属します。リーマンショック以降の厳しい経済環境のもとでそれぞれ頑張っている姿が印象的でした。業種は機械加工及び設計が5社、1社がプラスチック塗装。全体に仕事が激減した後の手立てで様々な努力をしており、その創意工夫に感心させられました。営業努力や新分野への働きかけ、コストダウンなどです。他社がやらない複合加工技術、材料の購入から組み立て加工まで一貫した製品づくり、多種・少量生産・短納期への対応、加工機械の24時間稼働によるコストダウン、一人親方でもNC機械ができない加工分野を手掛けられる等々。

B 技研は樹脂の塗装や印刷の複合技術を駆使して、**単独で複数工程をこなす**ために、取引先ではコストダウンにつながっています。

O 精機も多数の工作機械を設備して、**切削から仕上げまで総合的に対応**しており、新たに医療分野へ進出します。また営業でもその場の見積もり、納期設定など他社の追随を許しません。24時間稼働によるコストダウンも見逃せません。ここでは女性社員も機械に立ち向かっています。

Y 精機は仲間の会社を吸収して、年配職人による若手育成に活用しています。3か所に分かれている工場を2か所に統合しました。工作機械が所狭しと並んでいます。**新分野に挑戦して「環境事業部」**を作っています。**S** 製作所は板金加工ですが、**段取りが早い**ので結果的にコストダウンになっているといえます。

I 社はコネクターの設計・製作ですが、**小回りがきき**、試作開発部門と提携しています。

一部を除いて、**全体に量産ではなく、試作開発分野とのつながりが大きい**ようです。

課題としては、原材料の高騰、若手経営者間の交流・情報交換、従業員の社会保険料負担、仕事の確保策などが挙げられます。

こうした小規模企業が我が国のものづくり現場を支えているのです。なんとでも存続を図らねばなりません。自治体などがどのような支援策があるのか、改めて考えさせられました。

産学官交流サロンのコーナー

第41回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：H22年11月17日(水) 18:00~20:30
 場所：神奈川新聞社・横須賀支社 5階会議室
 会費：1,000円(ビールと簡単なおつまみ付)
 <話題提供>

「そうだったのか、デザイン！」

～その誕生と歴史、そして現在～

(社)かながわデザイン機構・理事

佐々木デザインスタジオ主宰 佐々木 勝氏

交流懇親会：自社への応用を考えましょう！

申込：神奈川異グ連事務局 八幡敬和 045-633-5142、
 防衛大学名誉教授 鶴野省三 046-836-6785

第40回よこはまサロン開催案内

日時：H22年10月20日(水) 18:00~21:00
 場所：神奈川中小企業センタービル 5階
 会費：1,000円(ビールと簡単なおつまみ付)
 <話題提供>

「中小企業における資金調達と事業継承」

～事例紹介～

東京中小企業投資育成株式会社・業務4部

部長代理 八城 守氏

交流懇親会：自分の生き方を主張出来るサロン！

申込：神奈川異グ連事務局 織方、杉本、芝
 045-633-5142

第29回「西湘サロン」開催案内

吉池正樹

日 時：H22年11月08日（月）18：00～20：00（開場17時30分）場 所：小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 会 費：1000円（ビール、おつまみ付）
栄町1丁目交差点より徒歩1分、「神仏具ストウ商店」と「あげたてっこ」の間です。

話題提供：「わが社の経営戦略」～2度の経営革新計画の承認を得て

(株)伊豆リネンサプライ、東京伊勢タオル販売株式会社 代表取締役社長 小野孝之氏

申込問合せ：異グ連事務局・島津俊之、吉池正樹、芝 忠 045-633-5142

おなじみ尾上町サロン（ぶらり参加大歓迎！！）**日 時：原則第一・三金曜日（10月15日、11月05日、19日）17：15～19：30**

場 所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 参加費：1000円（現物も大歓迎）

話 題：自由に持ちより（テーマの事前予約OK） 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**シフト21** 【<http://www.shift21.jp/>】

有村知里

10月定例会はファイナンシャルプランナーの薦田哲男様から、「年金・医療・介護のお話～これだけは知っておきたい社会保障制度」というテーマでお話をお伺いいたしました。

11月定例会は、プロダクトデザイナーの功力（くぬぎ）太郎氏に「プロダクトデザインのお仕事『ふさわしい形を求めて』」というテーマでお話いただきます。担当商品がグッドデザイン賞を4回受賞するなど豊富な実績をお持ちの功力氏に、プロダクトデザインのノウハウや、どうしたらモノをきれいに見せることができるのかといったコツをわかりやすくお話いただく予定です。（11月09日（火）18：30～20：20 かながわ県民センター303号室）

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎。お問合せは有村まで。

(arimura-c@nifty.com)**第111回（9月29日）日韓ビジネス協議会報告**

高橋導徳

- 1、「NPOものづくり応援隊 in 大田区」 クレデ経営コンサルタント事務所 園部和弘氏
設立5年、ものづくり企業の経営課題の整理、事業計画、新事業開発などの活動をしている。
- 2、韓国企業紹介 (株)ヴヴォン生活家電 次長 林 晃鐘氏
高麗人参の煎じる器具などを現在開発している。「高麗人参と健康」の冊子を配布された。
- 3、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）について」（有）精美堂 代表取締役社長 野口 修氏
ジェネリック医薬品とは新薬の特許などが満了させた後に販売される薬品である。
同じ成分、効き目、安全性を持つ比較的安価な医薬品であり、日本の年間医薬品費は8兆円の内、本医薬品を使えば1兆円の削減が可能である。
- 4、講演：「不況下に頑張る中小企業」 神奈川異グ連理事 瀧澤 清氏
関東学院大学からの委託事業（アンケート）の報告。

第112回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

日 時：2010年10月27日（水）15：00～17：15 懇親会17：15～18：15

場 所：神奈川中小企業センタービル 5階会議室

内 容：1、企業紹介 (株)ワン・ホープ（韓国のオーシャンリゾートクラブ） 濱田嘉彦氏

2、企業紹介 ANC社 「KOREA TODAY」誌 記者 末廣 信氏

3、セミナー受講報告 大島経営研究所・所長 大島英雄氏

4、講演：「むかしの遺物からみた日韓の生活と文化」 歴史研究家 佐々木 武氏

申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 携帯 080-3171-4069

まんてんプロジェクト

千田泰弘

- JASPAは神奈川県から「**航空宇宙産業参入支援事業**」を受託した。航空宇宙に関心のある県内企業の取り組みの実態と課題を調査し、問題解決の具体策の提案や、メーカーなどの情報提供を行う事業であり、有識者による「**参入促進委員会**」を設けて検討を進めることとしている。10月から具体的に開始し3月までに終了。
- 本年5月にチェコスロバキアの航空宇宙コンソーシアムと相互協力の覚書を調印したが、その第一回の交流事業として、9月27日～10月1日プラハにて開催された第64回国際宇宙会議（IAC）に併設して設けられた日本-チェコ宇宙会議（27日開催）に、日本のJAXA、航空宇宙工業会とともに、JASPAが招待され、まんてん・JASPAの活動を報告し、大きな反響があった。

お知らせ

<p align="center">補助金・助成金説明会、相談会</p> <p>第1回：H22年10月20日（水）13:30～16:30 第2回：H22年12月07日（火）13:30～16:30 第3回：H23年02月22日（火）13:30～16:30</p> <p>いずれも神奈川中小企業センタービル6F大研修室 内容：①SBIR制度の説明（最新情報） ②申請書作成事例 ③無料相談会</p> <p>主催：神奈川県技術士会、神奈川産業振興センター 045-210-0337 kcea@k06.itscom.net</p>	<p align="center">湘南ひらつかテクノフェア2010</p> <p>日時：H22年10月21日～23日 10:00～17:00 場所：ひらつかアリーナ JR平塚から神奈中バス9番 21日（木）農商工連携フォーラム 花を素材とした商品開発 22日（金）産学公演「食による地域ブランドの創造」 ビジネスマッチング 23日（土）少年少女ロボットセミナー</p> <p>主催：平塚商工会議所 湘南ひらつかテクノフェア2010 実行委員会</p>
<p align="center">県西産業フェア2011 出展企業募集</p> <p>日時：H23年2月25日（金）～26日（土） 場所：神奈川県足柄上合同庁舎 募集数：35社程度 出展料：1.8x0.9x0.7m 10,000円 1.8x0.45x0.7m 6,000円</p> <p>別会場にて1社20分のプレゼンテーション可能。 申込み：足柄上地域県政総合センター商工課 電話 0465-83-4591 小瀬村、中島</p>	<p align="center">IDEC・第3回インドビジネス懇談会</p> <p>日時：H22年10月21日（木）15:00～17:00 会場：(財)横浜経営支援財団 大会議室 内容：1, 申込時に話し合いたいテーマを申請 2, 参加者へ事前にテーマのすべてを連絡 3, ナビゲーターのもとでテーマについて懇談</p> <p>ナビゲーター：IDECグローバルビジネスアドバイザー 山下 貞良氏 問合せ：(財)横浜経営支援財団 国際ビジネス支援部 電話 045-225-3730 榎野、富永</p>

投稿

日本が中国に負ける時

C&S会長 魚崎誠也

先日、東京都羽村市のS製作所を見学する機会があった。S製作所は、航空宇宙部品とか民間の精密部品を作っている会社で、東京都の表彰を受けた企業でもあった。ここで新幹線の連結器の下についての接続システムのハウジングがあった。技術の進歩により在来線でも同様の装置があり、車両を連結したり、切離ししたりするときに、従来では作業員がそのたびに線路に降りて、空気を繋いだり信号電源のコードを繋いだりしていたものが運転台から操作できるように従来の連結器の下にコネクタを収納する箱が付いている。その箱・ハウジングの話である。

アルミ製の立派なものであった。50cm角の大きなアルミの塊から削り出したもので、芸術品に見えた。案内してくれた社長にこれはアルミの板の溶接構造で出来ないのですかと質問した。社長もその品物については色々改良すること気づき、提案するのであるが、顧客は今まで安全に動いていて、それをなぜ変える必要があるのかという答えが返ってくるのとことであった。そのハウジングは新幹線の退役した0系から今のN系まで一つ孔を増加した以外何も変わっていないとことであった。

これからが本題である。信頼性・安全性は鉄道事業の第一課題である。上記の変更もこのことから変えられないと顧客は言っている。しかし、筆者は明らかに過剰品質ではないかと思う。

日本は中国にこの新幹線の技術輸出をしている。中国は、この日本の技術を少し変えて第三国に輸出しようとしている。中国では、安全・信頼性も同じであるが日本のように先ほど述べた安全性・信頼性のための過去のしがらみはない。とすると、中国では人件費の安いだけでなく、この技術的な面でも日本の過去のしがらみに囚われない、より合理的な製品として競争に勝つ時代が来るのではないか。

日本の製品は、優秀で故障もなく、絶大な評価を得ているが、油断するとこの過剰品質ともとれる保守的な体制で失敗するのではないかと気になった次第である。

日本中国友好協会創立60周年記念シンポジウムを聴講（報告と感想） 小野川利昌

かながわ異グ連の友好団体であるベトナム友好協会の本吉様の情報で、標題のシンポジウムを聴講した。尖閣列島での事件の直後でもあり、200人募集に対し250人越えの盛況であった。中国大使館の上級官吏を含む3人の中国人の招待者が最前席で熱心に聴講されていた。日本の国会議員や官吏などは居なかったようである（少なくとも紹介はなかった）。

- 1、日本中国友好協会とは：筆者は当協会のことをよく知らないし、当日も協会の説明やPRはなかった。配布資料から、中華人民共和国建国の翌年1950年創立とのことである。筆者のつたない知識から、当時は冷戦の始まりの時期で、同年には朝鮮戦争が勃発している。GHQ占領下の日本は台湾と共に反共の防波堤であり、台湾の中華民国を安保理常任理事国であった5大国（米、ソ、英、仏、中国）の一つとし、中国本土の中華人民共和国は承認していなかった。
その様な環境下での当協会の設立の経緯などは知らない。しかし日本・アジアの近代史を正しく認識した上で、中国やアジア諸国との友好活動を進めること事態は好感を持って受け入れられる。
- 2、儀礼的な記念講演はさておき、「**日中関係の未来を展望する**」シンポジウムは一部と二部にわたって開催された。（総合司会の中央大教授H氏の挨拶で「日中友好の為に戦ってきた」との言葉にやや違和感を覚えたが）内容は大変濃いものであった。 —以下紙面の都合でほんの要旨を紹介。—

(1)第一部「歴史の自省から新たな日中関係を模索する」

- 1)フェリス女学院大学名誉教授I氏：日中和解の試みとして「南京事件の国際シンポ」を2000年代に、10カ国で5回開いているとのこと。（ドイツがホロコーストのことを宣伝しているだろうか?と思った）
- 2)明治大学教授Y氏：日本の近代における戦争の舞台はほとんど中国である。
日本人の記憶に太平洋戦争は鮮明であるが、中国軍との戦いはほとんど語り継がれていない。
太平洋戦争は国土が焼かれ悲惨な生活の記憶が女子供まで身にしみているが、中国軍との戦場は中国であり、日本国内の国民はその悲惨さを知らない。帰還兵士も多くを語りたがらない。
（筆者はs14年生まれであるが、爆撃の怖さと着るものも食べるものもない悲惨な生活は忘れられない、一方中国の戦場の悲惨さの知識が薄いため、中国国民の反日感情に戸惑うばかりである）
- 3)早稲田大学教授L氏（中国人）：日本と中国で「歴史観の共有は可能か?」
日本：日中の歴史観の違いを明確にする。 中国：共通の歴史観となることを期待する。

(2)第二部「現状を分析し未来を展望する」

- 1)京都大学教授O氏：中国の格差は縮小している。「私有財産化」の進展で土地所有者が小作を使うという現象が出ている。少数民族問題は多数決主義の民主化にそぐわない。
「北京コンセンサス」（政府主導の市場経済化を進める中国モデル）は、日・欧米が資本主義の限界を露呈しているなかで大いに参考になる。
- 2)青山学院大学教授H氏（女性）：日中和解と東アジア共同体構想の実現が急がれる。EUの教訓（600万人のホロコースト、3000万人の死者の屍の上での和解）、
- 3)早稲田大学名誉教授M氏（女性）：1972年日中正常化時代の中国は、毛沢東・周恩来など数人のトップのリーダーシップでデシジョン出来た。現在は政府・経済界・世論が密接にかかわっており、特に“情”で動きやすい世論が強い圧力となっている。中国の政権も盤石ではない。
中国：強烈なライバル意識、あらゆる外交カードで利益・パワーを追求してくる。
日本：中国脅威論（脅威の認識）、外交ゲーム能力の欠如。人的チャネルの喪失。
ほんの一部の紹介しかできなかったが、パネラー同士で意見の違いもあり、久々に面白いパネルディスカッションであった。

自信をつけ、力を行使したい中国に日本（政府も、学者も、国民も）が混迷しているところのようだ！

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】 荒 直孝 ③田中弘一 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 杉本 明子（芝 忠）

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。（会報編集担当）mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ！